

パリの日本大使館員がフランスで見つけた日本

7 パリの中の「東京」(2020年10月29日)

パリの中に「東京」があるのをご存じでしょうか？というのは半分冗談ですが、「パレ・ド・トーキョー」の名前を聞いたことがある方は、なぜ「トーキョー」というのか不思議に思われるのではないのでしょうか？

16区のイエナ広場の近くにあるパレ・ド・トーキョーは、セーヌ川に面しています。セーヌ川沿いの通りの名前が、第一次大戦の同盟国であった日本にちなんで1918年に「Avenue de Tokyo」に改名され、建物は「パレ・ド・トーキョー」と呼ばれるようになりました。しかし、「Avenue de Tokyo」は、第二次世界大戦後に現在の「Avenue de New York」に改名されました。通りの名前からは「トーキョー」はなくなりましたが、建物の名前には「トーキョー」の名前が残りました。Avenue du Président Wilsonに面したパレ・ド・トーキョー前の広場は「Place de Tokyo」です。パリの中にも「東京」があるのです！



日本の国外にある美術館で日本の都市名を冠している美術館は、おそらくこの美術館だけではないでしょうか。パレ・ド・トーキョーは、独自のコレクションは有しておらず、現代アートの企画展やファッションショーを開催しています。日本人現代作家の展覧会を行ったこともあるそうです。また日本人作家の作品が取り上げられる展覧会が開催されることを期待しています。

この美術館は、外国人観光客が多いルーブル美術館やオルセー美術館とは異なり、来場者の75%くらいはフランス人だそうです。この美術館には冷暖房施設がありませんので、来訪時期によって暑さ寒さ対策をお忘れなく。

建物の西翼がパレ・ド・トーキョーで、東翼はパリ市立近代美術館になっています。

